

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】特表 2006-507004 (P2006-507004A)

【公表日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-009

【出願番号】特願 2004-555661 (P2004-555661)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/37 (2006.01)

G 0 1 N 33/573 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/37

G 0 1 N 33/573 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 21 日 (2006.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

捕捉表面上の標識した複合体の存在を検出することを含んでなる、試料中のプロテアーゼの検出方法であって、

標識した複合体が、試料から誘導され、且つ標識された阻害剤に結合したプロテアーゼを含んでなる、方法。

【請求項 2】

検出可能な複合体が、特異的認識要素に結合することによって捕捉表面上に固定されており、特異的認識要素がプロテアーゼに結合してなる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

特異的認識要素免疫が、グロブリン、プロテイン G、プロテイン A、プロテイン A / G、ペプチド、オリゴヌクレオチド、核酸、および金属キレートからなる群から選択される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

捕捉表面が、ウェル、実質的に平坦な表面または粒子、ビーズもしくは微小球である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

捕捉表面が、個々にアドレス可能な粒子、ビーズまたは微小球である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

複数の捕捉表面上の複数の標識した複合体組成物を検出することを含んでなる、複数のプロテアーゼの検出方法であって、

それぞれの標識した複合体が標識した阻害剤に結合したプロテアーゼを含んでなる、方法。

【請求項 7】

標識した複合体が、マルチウェルプレートまたは実質的に平坦な表面の別個の範囲に整列されている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

捕捉表面のそれぞれが、個々にアドレス可能な粒子、ビーズまたは微小球である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

標識した阻害剤が、比色ラベル、蛍光ラベル、化学発光ラベル、生物発光ラベル、ピオチン、ジゴキシゲニン、検出可能な炭水化物、オリゴヌクレオチド、核酸、ペプチド、ポリペプチド、タンパク質、および糖タンパク質からなる群から選択される成分で標識されてなる、請求項 4 ～ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

プロテアーゼを含むと推測される試料を、標識した阻害剤と接触させて、標識した複合体を調製した後、捕捉表面上に固定する、請求項 4 ～ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

標識した複合体が、プロテアーゼを含むと推測される試料を、捕捉表面と接触させた後、捕捉表面を標識した阻害剤と接触させることによって調製される、請求項 4 ～ 9 のいずれか一項に記載の方法。